

2016年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	経済学部	身分	教授
氏名	高橋 宏幸		
NAME	Hiroyuki Takahashi		

1. 研究課題

(和文) 戦略的グループ経営の制度的分析

(英文) Institutional Analysis of Strategic Group Management

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度)

(和文)

本研究の目的は、国内的そして国際的にもグループ経営が普及し、熾烈なグローバル競争に晒されている状況下でグループ経営が戦略的不全に陥っている根本的要因を分析し、戦略的に行動するための諸条件を明らかにし、政策提言のための予備的作業を行うことにある。そこでの基本的課題は「戦略的グループ経営の制度的分析」であり、グループ内の兼担、グループ間の兼任そして産業内の兼任、産業間の兼任といった兼担・兼任関係に着目した。1つの経営単位としてのグループ経営において、グループ利益追求のための戦略的経営で生じる法的問題ならびに経営上の制約の克服に、グループ経営内の兼担取締役の制度的補完関係における固有の機能こそが最優先されるべきであるという結論を導き出した。その一連の研究作業と成果として、「兼任取締役制度と戦略的意義—競争関係の交錯的変容に関連して—」、『企業研究』第31号、2017年8月31日を、また、このグループ内兼任取締役と混同されている社外取締役と対比し戦略的グループ経営の遂行にあたって業務執行取締役の重要性を指摘し、社外取締役にはそうした機能は無いことから、グループ内の兼任取締役構造が果たす制度的代替機能を、「グループ利益の追求とグループ経営内兼任構造」『企業研究』2018年2月28日に成果としてまとめた。

(英文)

The purpose of this research clarifies terms and conditions for group management to analyze the fundamental cause which has fallen strategically insufficiently, and act strategically under the situation. The fundamental subject "institutional analysis of strategic group management" paid its attention to interlocking directorate. In the group management as one management unit, I drew the conclusion that just the interlocking directorate is peculiar function as institutional complement in the group management. From this we included that the interlocking directorate should have been given top priority.